

取組案2 安全・安心な学校機能の復旧と復興に向けた魅力ある学校づくり

1 内容

震災で被害を受けた学校施設の復旧を急ぎ、安全・安心な教育環境を確保するとともに、津波被害により喪失した県立学校施設については、各地域の復興の方向性などを踏まえながら計画的に整備し、魅力ある学校づくりを行う。また、被災地区の学校を中心に、教職員などの人的体制の強化と心身の健康の確保に努め、安全・安心な教育環境を確保する。

2 具体的な取組

【県教育委員会・県が直接取り組むべきもの】

- ① 県立学校施設の復旧を急ぐとともに、津波等により壊滅的な被害を受けた学校については、仮設校舎の整備を進める。
- ② この仮設校舎が整備されるまでの間、近隣校の空き教室の確保等を行うとともに、スクールバスを運行し、安心して学べる教育機会を確保する。
- ③ 津波被害により喪失した県立高校の再建に当たっては、単なる復旧ではなく、被災地域の復興の方向性や産業構造の変化など今後の社会の動きを踏まえながら、防災機能や地域との交流機能等をも考慮した魅力ある学校施設を計画的に整備する。
- ④ 被災した地区の学校を中心に、教職員などの人的体制を強化し、生徒指導・進路指導や教育相談を充実する。
- ⑤ 震災に伴う多種多様な学校の課題に的確に対応できるよう、教職員に対するカウンセリング体制等を充実し、心身の健康保持に努める。
- ⑥ 私立学校の施設復旧への取組に対し、財政的な支援を行う。

【(県教育委員会の支援等により)市町村教育委員会が取り組むべきもの】

- ① 市町村立学校施設の復旧を急ぐとともに、津波等により壊滅的な被害を受けた学校については、仮設校舎の整備等を進める。
- ② この仮設校舎が整備されるまでの間、近隣校の空き教室の確保等を行うとともに、スクールバスを運行し、安心して学べる教育機会を確保する。

安全・安心な学校機能の復旧と復興に向けた魅力ある学校づくり

